

農作業特報

令和元年7月21日

黒 部 市
黒部市農業技術会議

主力品種「コシヒカリ」の出穂期は平年よりやや早まる見込みです。今後は、病害虫防除を適期に実施するとともに、適切な水管理や追肥により稲体の活力を維持し、産米の品質向上に努めましょう。

1 コシヒカリの追肥

エルニーニョ現象が終息し、8月上旬の気温は平年並みか高くなると予報されています。稲体の活力を維持するため、穂肥（LP 追肥38号）施用後も葉色が淡い場合や、基肥一発栽培でも葉色が淡い場合は、追加穂肥を施用しましょう。

【追加穂肥の目安】
出穂10~7日前(7/23~26)に
葉色が4.2未満(壤土は4.0未満)

早急に追肥を!!

追肥3号
5~7 kg/10a

※遅くとも7月30日頃
までに施用しましょう。

2 病害虫防除

畦畔等におけるカメムシ類の発生量が平年より多くなっています。

出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょう。

【コシヒカリの基本防除の目安：粉剤または液剤の場合】

防除時期	防除日(目安)	使用農薬	散布量 希釈倍数	使用基準 (収穫前日数)
1回目 出穂期	8/2	粉剤：ピームモンカットスタークルF 粉剤 DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤：ピームエイトスタークルゾル +モンカットフロアブル	1,000 倍液	14日前まで
2回目 穂揃期	8/9	粉剤：キラップ粉剤 DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤：キラップフロアブル	1,000 倍液	14日前まで

- ・散布時期の間隔は7日間を目安とします。(10日以上あけないように)
- ・畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・ラベルの記載事項を確認してから使用しましょう。
- ・風向きと風速、散布量等に注意し周辺の作物への飛散防止に努めましょう。

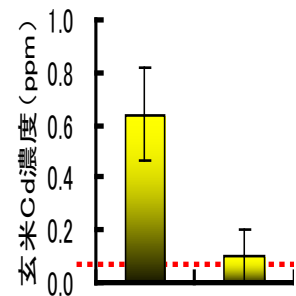
3 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂から20日間は田面が出ないように、湛水管理を徹底しましょう。

【湛水方法】

- ・水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・みんなで協力し、限りある用水を有効に利用する。

○水のかけ流しは絶対しない。
○水尻はしっかり止める。
○畦畔から漏水がないか点検する。



間断湛水 20日湛水
図 水稻の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設
ほ場試験結果(農研コシカリ)

20日間の湛水管理の後は、収穫の5~7日前まで間断かん水を行いましょう。